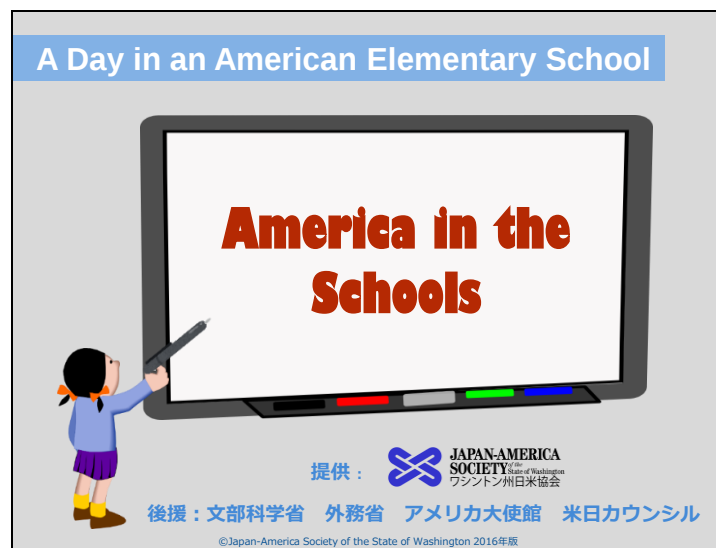




### ポイント

これから見るパワーポイントの中で自分達とアメリカの子供達の類似点・相違点を探します。

### 活動

このスライドショーがアメリカの小学校生活を日本の子供達に紹介するため「ワシントン州」で作られた事を説明してください。

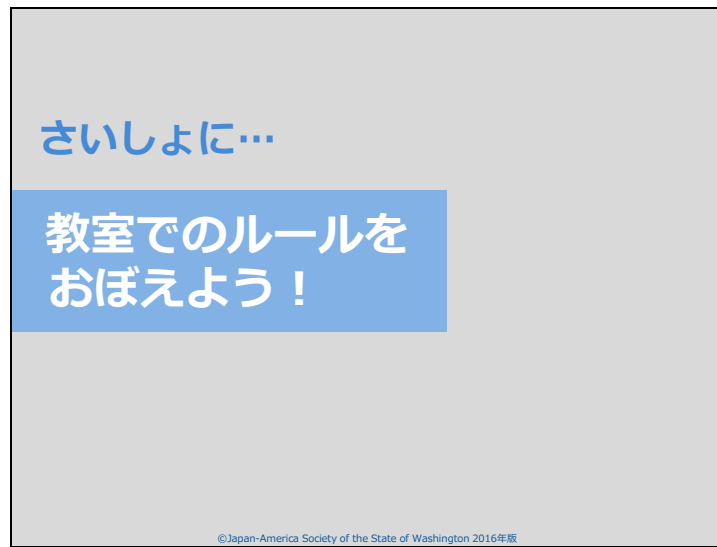
英語で書かれたタイトルを読むことができるか子供達に聞いてみてください。

スライドショーを始める前に生徒用ワークシートを配布してください。

### 解説

これから「Mika」と言う日系人の4年生の女の子の学校生活を紹介します。彼女の一日の様子を見ながら日本とアメリカの違い・共通点を見出し、日米相互理解を深めていくのが目的です。

スライドショーの前半はアメリカの簡単な基本情報を紹介します。そのあと、実際にMikaが通う学校の様子を見ながらアメリカについて学びます。



スライドショーを始める前に教室でよく使うジェスチャーを覚えましょう。



### ポイント

アメリカの教室内でよく使われる「声を出さないコミュニケーション方法」を学びます。

### 活動

「Quiet Coyote」を紹介します。

Quiet = 静かな、無言の Coyote = 北米に生息するイヌ科の動物

プレゼンテーションの途中で使ってみてください。必要であれば「コヨーテ」が何か説明してください。

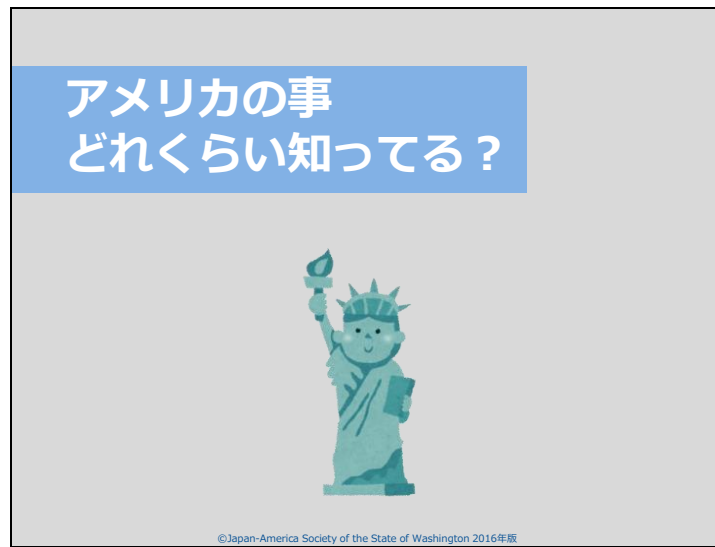
### 解説

Quiet Coyoteはアメリカの小学校でよく使われる合図で、「注目しなさい」という意味です。

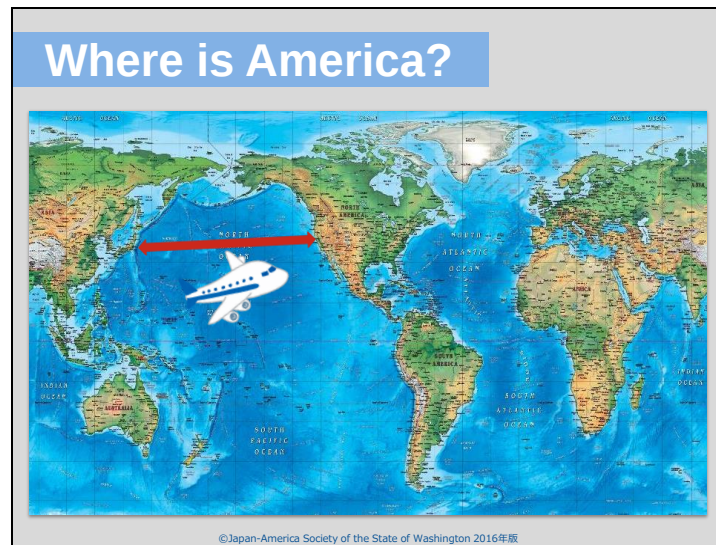
Quiet（静か）とCoyote（狼）という言葉の音が似ているのと、コヨーテが耳をピンと立て、口を閉じて注目している様子を表わせるという事でQuiet Coyoteのサインが出来たようです。

先生がこの合図を出すと生徒も同じように出し、全員が同じ合図を掲げ教室が静かになるまで待ちます。

大変効果が高い合図なので、プレゼンの間に実際使ってみてください。



これは次のスライドに移る時の説明です。



### ポイント

アメリカの子供達の地図の見方を学びます。

### 活動

生徒に合衆国にはいくつの「州」があるか聞きましょう。また、生徒を前に呼んで、首都がどこかを指させてみてください。

日本の都道府県数、首都などを確認した上で比較すると面白いでしょう。

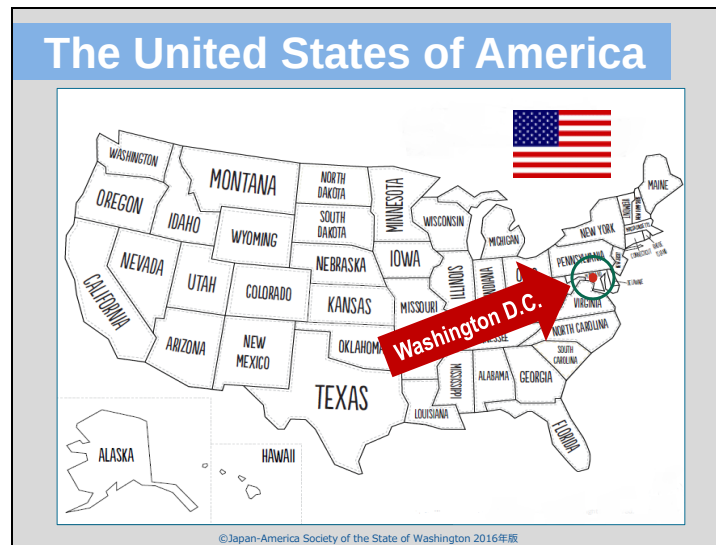
また、日本からシアトルまでの飛行時間はどのくらいだと思いか聞いてみてください。（10時間）

### 解説

アメリカで使われる世界地図は、日本の物とは違います。日本で使用する地図は日本がほぼ中心に位置していますから、アメリカではアメリカが中央に来る地図を使うのか、と考えがちです。しかし実際は、太平洋・大西洋どちらかを中央に置いた2種類の地図があり、どの国も母国がより中央に近いものを使用しているようです。

一口にアメリカと言っても大陸（南アメリカ大陸、北アメリカ大陸）を意味することもあるので注意しましょう。

国を表す時はUSAといたり、United States of America といたりします。



## ポイント

## アメリカの首都ワシントンD.C.の紹介

## 活動

生徒に合衆国にはいくつの「州」があるか聞きましょう。また首都がどこか前に呼んで指させてみてください。

## 解説

アメリカが50の「州」から成り立っている事と、首都がワシントンD.C.だという事を説明してください。（実際多くの子供達が首都はNew Yorkだと答えたりします。）ちなみにワシントンという名前の州もあるので、ワシントンと言われたら、首都なのか州なのかを確認する必要がありますね。（このパワーポイントを作成した日米協会はワシントン州にある日米協会です。）

アメリカの首都はワシントンD.C.です。正式名称は「コロンビア特別区」です。ここは「州」でも「市」でもありません。通常単に「ワシントンD.C.」と呼ばれます。

アメリカは大きな国なので同じ国でも時差があります。（本土は4つの時間帯に分かれています。）ウエストコースト（地図の左側）とイーストコースト（地図の右側）では3時間もの差があります。（例）ロサンゼルスが午前9時の時ワシントンD.C.ではすでに正午。



### ポイント

今日のスライドショーの中心となる人物を紹介します。

### 活動

これからMika Yamamotoの学校生活を学習する事を説明してください。子供達にMikaは日本人だと思うか、アメリカ人だと思うか聞いてみましょう。何故そう思ったかも聞いてみてください。

### 解説

Mikaは姓・名ともに日本語ですが、アメリカ生まれ、アメリカ育ちの「アメリカ人」です。

父親は日系3世（両親共に日本人）で、母親は日本人と白人のハーフです。

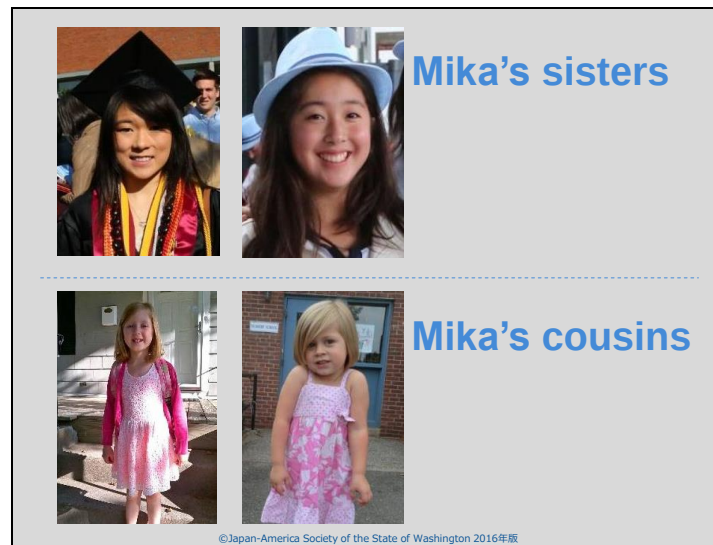
Mikaは日本語を話しません。でも私達とほとんど同じような外見（黒い髪、黒い眼、肌の色）です。

日本人の中にはアメリカ人と言えば金髪・青い目のいわゆる「白人」を思い浮かべる人が多いですが、多民族国家であるアメリカには実に様々な人種が入り混じり国家を形成している事を強調してください。

自己紹介の中で最後に「I like bunnies. (うさぎが大好きです。)」と言っていますので、子供達が聞き取りやすいようにうさぎの絵が載せてあります。

### 音声

Mikaの自己紹介が流れます。言っている事が理解できたか確認しましょう。Mikaが「アメリカ人」である事を説明します。



### ポイント

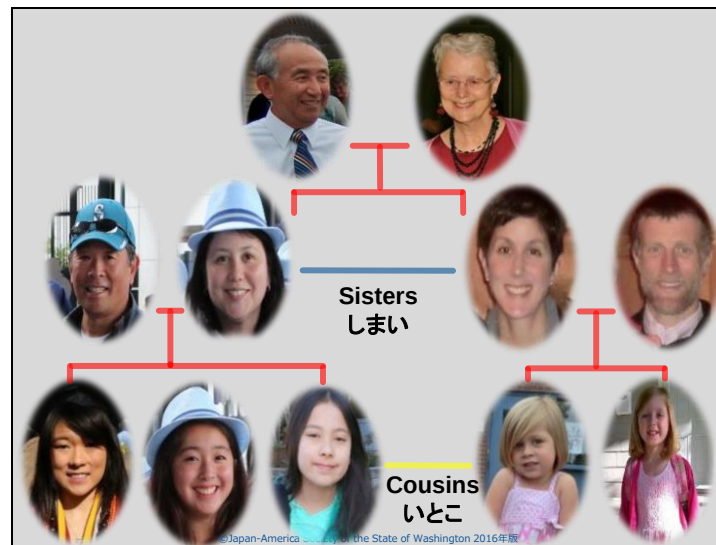
「アメリカ人」に対して日本人が持っている「ステレオタイプ」を考え直します。

### 活動

Mikaの姉達を紹介し、Mika同様アメリカで生まれ育った「アメリカ人」である事を説明します。では下の二人の少女を見てください。彼女達が誰なのか生徒に推測させましょう。（友達？クラスメート？親戚？）そして彼女達がMika達の「いとこ」という事を説明してください。彼女達は父親がヨーロッパ系の白人で、母親が日本人とのハーフなので1/4しか日本人の血が流れていません。

### 解説

Mika姉妹の母親と、いとこ達の母親は姉妹です。Mika達の父親は日系アメリカ人、一方いとこ達の父親はヨーロッパ系アメリカ人です。ですから親戚同士でもずいぶん外見に差が出ています。アメリカは多民族国家ですが、家族レベルでもこのように様々な人種が混じりあっています。みかちゃんの父方の祖父母と母方の祖父はどちらも広島県出身です。



### ポイント

家族間でも人種が混じり合う事で「人種の多様性」が起こり得る事を理解します。

### 活動

Mika姉妹と従姉妹達の間で外見の違いが生まれた理由を説明してください。

\*数字は日本人の血の割合です

Mika達の父親 = 100% 母親 = 50% 3人の娘は**75%**  
従姉妹達の父親 = 0% 母親 = 50% 2人の娘は**25%**

こうして従姉妹同士で髪や目の色の違いが起こるのです。

### 解説

Mika姉妹のお父さんは100%日本人。お母さんが50%日本人。なので3姉妹は75%日本人となり、私達と同じような黒髪・黒い眼のアジア人の特徴が強く出ています。一方いとこ達はお母さんは50%日本人ですがお父さんは日本人ではありませんので、彼女たちは25%だけ日本人なのです。ですから同じいとこ同士でもこのような外見の差（髪や目の色）が出てくるわけです。



### ポイント

「多民族国家」であるアメリカの現実を学びます。

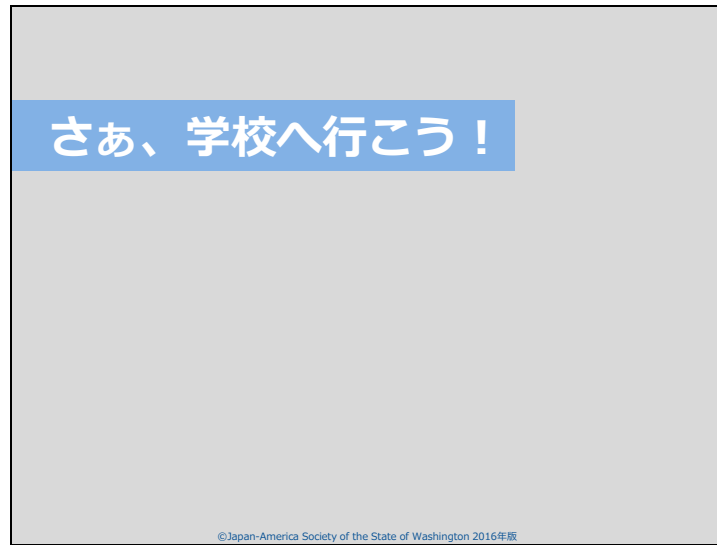
### 活動

Mikaのクラスメートを紹介してください。アメリカでは多くの場所で様々な人種の子供達が共存していて、肌や髪の色が違って仲良く学んだり遊んだりしている事を説明してください。

写真に写っているのは典型的なアメリカの様子です。アメリカは様々な人種、様々な国から来た人達で構成された国なのです。

### 解説

同じクラスにも様々な肌の色、髪の色の子供がいて、みんな仲良く遊んだり勉強したりしています。多人種・多民族国家のアメリカらしい写真です。アメリカ＝白人の国というイメージはまだ強いかもしれませんが、地域によってはこのように同じクラスに様々な異なる人種の子供達が机を並べて共に学んでいる光景は増えてきています。



さあ、学校に行きましょう！



### ポイント

日本のような場面ごとの決まった挨拶や表現がアメリカにはないことを学びます。

### 活動

朝、家を出てくる時にどんな挨拶をして（何と言って）くるか生徒に聞いてみましょう。  
「行って来ます」「行ってらっしゃい」というあいさつに対する英語の直訳表現がないことを説明してください。

### 解説

外国語を学習する時、必ずしも全ての語が直訳できる訳ではないことを学びます。  
日本では「行ってらっしゃい」「行って来ます」などの挨拶はとても重要ですが、英語には直訳にあたる挨拶がないこと、人によってあいさつが違うことを説明します。学校に行く時、アメリカの子供たちが“Bye”と言ったり“I love you”ということはよくありますが、日本語に訳すと変な感じですね。  
通学時のバッグも同様に、各自好きなバックパックを選んで使用します。ランドセルのような統一したものはありません。



### ポイント

様々な通学手段について説明します。

### 活動

生徒に通学手段を聞いてみてください。そしてアメリカの子供達はスクールバスや両親の送迎の車で通学して来ることを説明しましょう。州によっては高校生になると自分で運転して学校に来ることさえできます。

### 解説

アメリカでは多くの生徒（半数以上）がスクールバスで通学します。（スクールバスは無料）バスは学区をまわって家の近く（または家の前）で子供達をピックアップします。学校までの距離が近ければもちろん徒歩で通学する生徒もいますが、その数はほんの約1割程度です。残りの生徒は両親による自家用車通学です。

アメリカの子供達はスクールバスで通学するイメージが強いですが、バス通学者と自家用車通学者の割合はほぼ同じです。



### ポイント

責任感と尊重の心を培うための特別活動を紹介します。

### 活動

Mikaが「交通安全パトロール」をやっている事を説明してください。学校周辺には沢山の車やスクールバスが行き交います。ですから低学年の子供達の安全の為にもMikaが車に止まれ！の指示を出して横断を手伝っているのです。

### 解説

アメリカではスクールバスと自家用車による通学が大半なので、登下校時には校門周辺は車でごった返します。それを小学生自らが学校前に立ち、交通整理を行うのです。これは上級生だけが任される仕事です。当然その分、朝は他の生徒より早く登校しなければいけないし、下校時も遅くまで残らなければなりません。大変そうですが、交通整理の旗を持ってさっそうとスクールバスや送迎の車の整理を行う上級生は下級生の憧れです。

任期（1学期間単位だったりする）を修了すると褒美がある地域もあります。地元警察から表彰状を授与されたり、学校やPTAから映画やボウリングに連れて行ってもらったりするそうです。



### ポイント

典型的なアメリカの小学校校舎の一例をお見せします。（建物が平屋でカラフル）

### 活動

これはMikaが通う学校だと説明してください。生徒に自分の学校の校舎との類似点・相違点を尋ねてみてください。

### 解説

上の写真は一般的な小学校の建物です。日本と違って広大な土地があるからか、平屋で階段はないという学校も多くあります。授業が始まるベルが鳴る前は施錠されており、先生が鍵を開けて生徒を教室の中に入れてくれます。

アメリカの学校には「職員室」と言うものはなく、先生達は全ての持ち物を教室の担任席に置いています。ですから、教室は「〇〇先生のクラス」と呼ばれ、日本のように「〇年〇組」と言う言い方がありません。ちなみに先生はMs. 〇〇と苗字で呼ばれます。

Mikaの学校は公立小学校です。ほとんどの小学校が幼稚園との併設です。通常アメリカの小学校は「K-5」と呼ばれ、K=Kindergarten（幼稚園）から5年生までです。

各学校には必ず「マスコット」がいます。マスコットは犬や鳥など動物が多く使われます。Mikaの学校のマスコットはブルドックです。



### ポイント

学校での服装の違いなどを見ます。

### 活動

アメリカでは「上履き」がないので靴を履き替えないことを説明してください。

### 解説

日本では登校するとまず上履きに履き替えますが、アメリカでは一日中同じ靴で過ごします。「上履き」や「体育館シューズ」のどちらもない学校が多いです。ちなみに小学校では体操服もない学校がほとんどで、着替えずにそのまま体育の授業を受けます。

よく見るとMikaの学校は床がカーペット敷きである事に気がきますね。全ての学校がそうだという訳ではありませんが、木やコンクリートの床に比べると清掃や修理が容易なのでカーペット敷きが多いようです。



### ポイント

ビデオを見ながら、アメリカ人の先生方の教室の使い方と登校時の様子を学びます。

### 活動

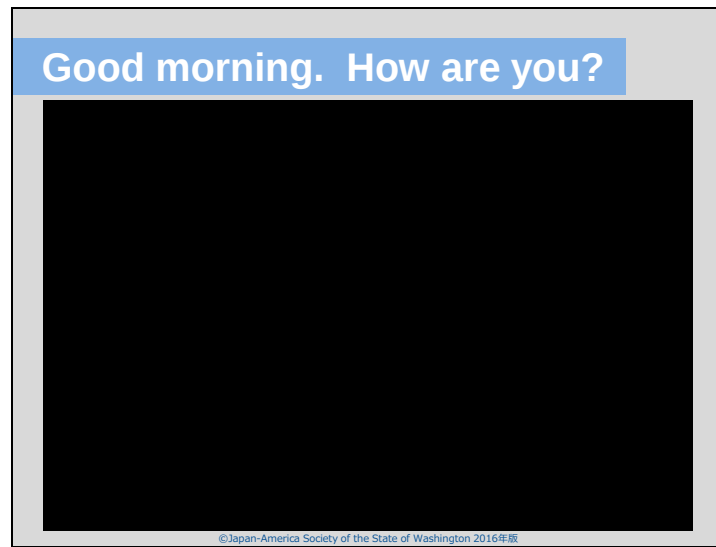
いよいよMikaの学校での一日が始まった事を教えてください。 始業のベルが鳴るまで子供達は教室の外で待たなければなりません。

### 解説

アメリカの学校には職員室がありません。始業時間になると、その教室担当の先生がドアを開け生徒を中に入れてくれます。（スライド15参照）それまで生徒は外で待っています。始業のベルが鳴るとビデオのように先生がドアを開け、一人一人に挨拶をしながら中に招き入れます。 始業のベルも日本のように全国統一のチャイムではなく、ベルだったり電子音が流れたりします。実際の音を聞く事が出来ます。（音声は電子音です）

### 《音声》

始業のベル音が流れます。 この始業のベルが鳴ると先生が鍵を開けて生徒達を迎え入れることを説明してください。



《ビデオ映像》教室に入って来るシーン

解説

Mikaの教室の様子ビデオです。先生がドアを開け生徒達を迎え入れる様子を見て気づいたことを発表してください。



### ポイント

教室の様子やデザインを見せてください。 PC等のICT機器、机の配置、掲示物など教室環境が重要視されている点に注目して見てください。

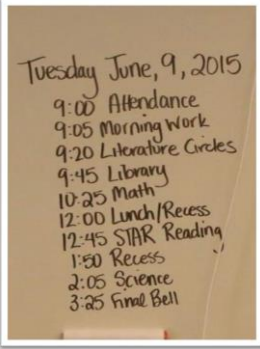
### 活動

子ども達にこれはどこだと思うか聞いてみてください。（職員室だと思う子供が案外多いのです。）  
これはMikaの教室だと説明してください。 黒板でなくホワイトボードだったり、電子黒板を使っていることを説明しましょう。 そして自分達の教室と比較して類似点・相違点を見つけさせましょう。

### 解説

アメリカでは日本より教室のICT化が進んでおり、黒板ではなくスマートボード（電子黒板）の普及率が高いです。

文具や教科書は共有で、家に持ち帰らない場合がほとんどです。 鉛筆やノリ、ハサミなどは生徒が年度初めにクラスへ持参し、集まったものをクラスの備品として使用します。 日本のように全生徒に教科書が無料配布されることはありません。クラスに人数分が用意しており、学校から「借りる」形で使用します。

| Daily schedule<br>時間割                                                             |                         | 2015年6月9日(火曜日)の時間割                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------------|
|  | 9:00 Attendance         | 朝の会                                      |
|                                                                                   | 9:05 Morning Work       | 話し合い<br>(誰かが出したテーマについて話し合う)              |
|                                                                                   | 9:20 Literature Circles | 朝の本読み練習<br>(グループごとに輪になり、同じ本を声を出しながら本を読む) |
|                                                                                   | 9:45 Library            | 図書室の先生と学習                                |
|                                                                                   | 10:25 Math              | さんすう                                     |
|                                                                                   | 12:00 Lunch/Recess      | 昼食と昼休み                                   |
|                                                                                   | 12:45 Star Reading      | パソコンを使ったテスト                              |
|                                                                                   | 1:50 Recess             | 休み時間                                     |
|                                                                                   | 2:05 Science            | 理科                                       |
|                                                                                   | 3:25 Final Bell         | 下校の時間                                    |

## ポイント

アメリカの小学生がどんな時間割で勉強しているのか見せてください。

## 活動

ある日のMikaのクラスの時間割を説明してください。アメリカでは担任が毎日時間割・カリキュラムを決定します。ちなみにこの日の時間割は

|                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| 9:00 Attendance         | 出欠の確認 (朝の会)                      |
| 9:05 Morning Work       | 朝の話し合い (誰かが問題提起をし、それについて学級で話し合う) |
| 9:20 Literature Circles | グループごとに輪になって本を音読する               |
| 9:45 Library            | 図書室へ移動し、司書の先生と学習する               |
| 10:25 Math              | 算数                               |
| 12:00 Lunch/Recess      | 昼食・昼休み                           |
| 12:45 STAR Reading      | パソコンを使った評価型のテスト                  |
| 1:50 Recess             | 休み時間                             |
| 2:05 Science            | 理科                               |
| 3:25 Final Bell         | 下校                               |

## 解説

時間割がホワイトボードに手書きで書いてあります。その訳は時間割は担任の先生がその日に決めるからです。アメリカには全国統一の「指導要領」のようなものはありません。州単位、市単位でガイドラインはあるようですが、その日何を勉強するかは担任の裁量によって決定するようです。利点は、担任の先生がクラスの生徒の進度・理解度に応じてレベルを変えたり進度を変えられることです。1クラスの生徒数も日本より少ないことがほとんどです。(多くの場合24人以下です。)



### ポイント

アメリカの学校ではどのように生徒に愛国心を持たせ統一させるかを学びます。

### 活動

これは「忠誠の誓い」と言い、アメリカでは全ての子供が幼稚園から毎日唱えなければいけないことを説明してください。アメリカのように様々な人種から成る生徒達を統制するのに大切なことなのです。音声の流れますが、もしALTの先生がアメリカ出身であれば実際に宣誓をやらせてください。

### 解説

アメリカの公立小中学校や幼稚園では、毎朝係が国旗（星条旗）を掲げ、右手を胸にあて、国旗に向かって国家への忠誠を誓います。これを「忠誠の誓い」(the Pledge of Allegiance) と言います。次のように誓います。

I pledge allegiance to the flag of the United States of America and to the Republic for which it stands, one Nation under God, indivisible, with liberty and justice for all.

「私はアメリカ合衆国の国旗と、その国旗が象徴する共和国、神のもとに統一され全ての人々に自由と正義が約束された不可分の国に忠誠を誓います」となります。小さい頃はもちろん意味も分からず丸暗記で唱えているだけでしょうが、毎日繰り返すことで自然と国家への忠誠心を身に着ける：多民族で構成されたアメリカが一つになる必要がある、アメリカならではの愛国心の養い方です。



### ポイント

アメリカ人の子供達がどのようなスタイルで読書をしているかを見ましょう。

### 活動

4枚の写真がスタイルこそ違えど全て読書の様子だと説明してください。タブレットを使って読書をする子もいます。

### 解説

4枚とも読書の時間の光景です。輪になって音読、一人でタブレットを使った読書など色々ですね。必ずしも机に座って授業を受けるという事はなく、その時々で様々なスタイルをとります。アメリカでは同じクラス内でレベル分けをしてそれぞれが取り組むというレベル別指導がよく行われます。ですから、国語の授業も日本のように全員が揃って教科書を読むというのではなく、各児童の読書力にあったものを課題として与えられます。



### ポイント

日本では禁止されている「学校でおやつを食べる」という行為に対して全く逆の考え方をするアメリカの視点について説明してください。

### 活動

Mikaの学校では毎日午前中に「おやつの時間」がある事を説明してください。その理由が「子供はお腹が空くと学習に集中できないから」と言う考え方がアメリカにあるからだと説明します。どう思うか生徒に子供達に聞いてみてください。Quiet Coyoteを使う場面かもしれません。

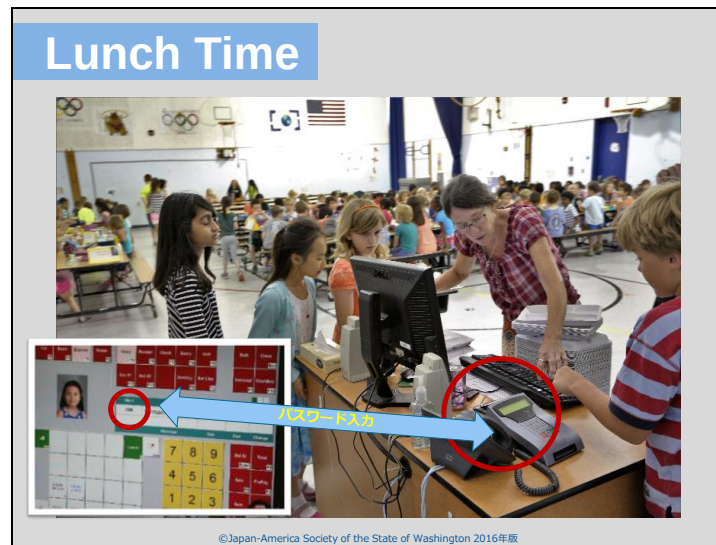
### 解説

日本でも幼稚園や保育園では「おやつの時間」がありますが、アメリカでは小学校にもあります。

「お腹が空くと勉強に集中できないから」「子供達は成長期なので、常にエネルギー補給する必要がある」と言う考え方が根底にあるようです。好きな時間に食べていい学校もあるようですが、たいていは食べる時間や場所が決められているようです。

おやつは各自が持参する場合と、当番制になっていて一人がクラス全員分を用意する場合（今週は○○ちゃんのお母さんが用意する番）など学校や地域によって様々なようです。「スナック」と言っても甘いお菓子を食べるのではなく、フルーツや野菜スティック、クラッカーなどヘルシーなものが奨励されています。

また、学校の多くは、許可があれば校内で誕生日や特別なお祝いの時ケーキやお菓子を食べる事が可能です。先生達の中にはお菓子をご褒美に使う人もいます。



### ポイント

アメリカの子供達は何を食べたいか選択肢があることを学びます。自分達で支払いをする場合もあります。

### 活動

ランチタイムの紹介をしてください。アメリカの子供達がどこで食事しているか聞いてみてください。写真右の男の子は何をしていると思うか聞いてみてください。アメリカの学校にはたいてい「カフェテリア」があるが、Mikaの学校では体育館がカフェテリアとして使用されている事も説明してください。

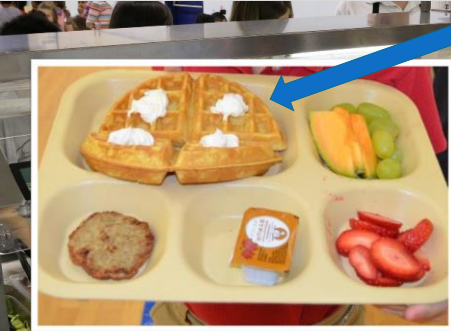
### 解説

日本の学校では教室の自分の席で昼ご飯を食べますが、アメリカの小学校では通常カフェテリアがあります。学級単位でそこへ移動しての昼食となります。学校によっては写真のように体育館をカフェテリア代わりに使い昼食時に机と椅子が運び込まれる所もあります。

ランチは持参してもいいし、学校で購入する事も可能です。ランチを買うために、個人のID番号のようなものを機械で入力します。IDを入力すればその場で現金で支払わず、月末にまとめて親に請求がいくシステムです。子ども達が現金を持ち歩く事もなく、お金を忘れて買えなかったという事もあります。（学校によっては子供が毎回支払うところもあります。）

入力が終わったら係の先生からトレイを受け取り、自分の食べたい物を選ぶ事になっています。メニューはアレルギーや宗教上の制約がある生徒のために選択肢が設けられています。

Lunch Time



Lunch Menu

|                                                                                                                                |                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Friday                                                                                                                         | Meatless Tues<br>Any Offering                                                                                   |
| 4                                                                                                                              | 4                                                                                                               |
| <b>Belgian Waffles</b><br>With Strawberries and Whipped Topping<br>Turkey Sausage                                              | <b>Adult Prices:</b><br>Lunch: \$4.00                                                                           |
| 13                                                                                                                             | 13                                                                                                              |
| <b>Taco Salad</b><br>with Taco Meat, Cheddar Cheese, Shredded Lettuce in Whole Grain Tortilla Bowl<br>Vegetarian Refried Beans | <b>Milk Choices:</b><br>Regular: \$0.50<br>Lactose Free: \$0.50<br>Soy Milk: \$0.50                             |
| 24                                                                                                                             | 24                                                                                                              |
| <b>Fish Shapes</b><br>with Potato Smiles<br>Whole Wheat Roll<br>Coleslaw                                                       | <b>Additional Daily Options:</b><br>Hamburger<br>Chicken Burger<br>Chicken Caesar Salad                         |
| 27                                                                                                                             | 27                                                                                                              |
| <b>No School!</b><br><b>Break</b><br>Go!                                                                                       | <b>Vegetarian Options:</b><br>Veggie Burger<br>Bean & Cheese<br>Veggie<br>Hummus Plate<br>Greek Yogurt<br>Lunch |

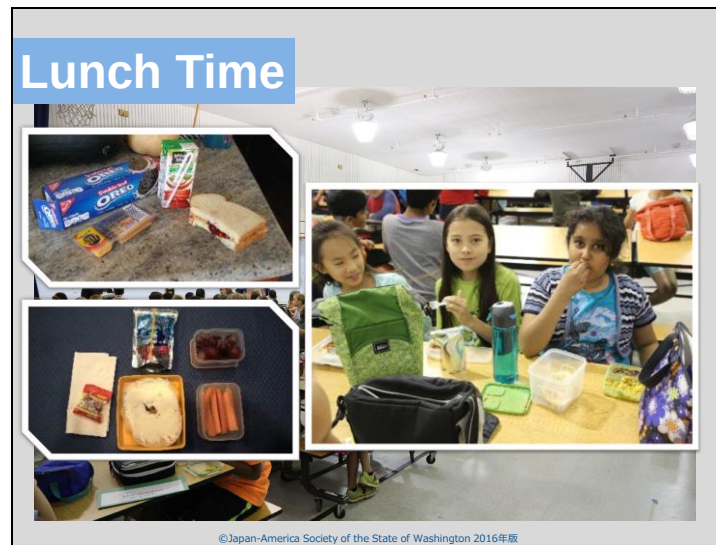
©Japan-America Society of State of Washington

## 解説

メニューを見てください。ランチ代は3ドルでミルクなど個別の購入もできますね。

この日のスペシャルはベルギーワッフルですが、他にハンバーガー、チキンハンバーガー、チキンシーザーサラダ、ベジタリアンのメニューもあります。サラダも好きなようにとる事ができます。

アメリカでは宗教やアレルギーなど個人の状況に合わせて「選択」が可能なのです。



### ポイント

アメリカの子供達が家からどんなお弁当を持っているか見てみましょう。

### 活動

子ども達の中には家からお弁当を持って来る子もいる事を説明してください。どんなものを食べているのか見せてください。

### 解説

アメリカの子供がどんなものをランチに持っているかを見せます。サンドイッチ用のパンにピーナッツバターとイチゴジャムを挟んだPBJ (Peanut, Butter and Jelly)は子供達の大好きなメニューの1つです。



### ポイント

アメリカの校庭の中で日本と異なる様子（遊び、グラウンド、遊具の様子）を見せてください。

### 活動

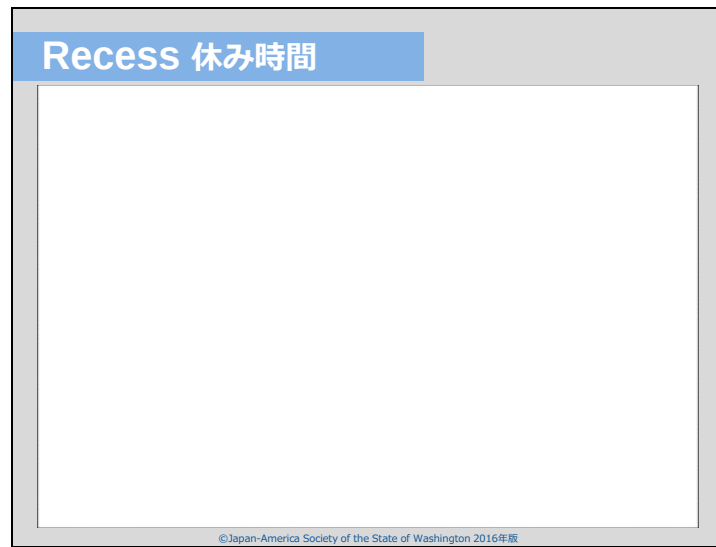
アメリカの子供達がどこで遊んでいるか聞いてみてください。これが学校の校庭だと説明してください。どんなものが目に入ったか、自分の学校の様子とどう違うか比べてみましょう。

### 解説

日本にも少しずつ芝生のある校庭が増えているようですが、やはりまだ少ないようです。写真の学校には車が入り出るコンクリート部分（バスケットのリングがあります）と、芝生の部分があり、滑り台の周辺はウッドチップがひいてあります。遊具は小学校と幼稚園が併設されている所も多いので日本の小学校と少し違うかもしれません。

また子供達がゲームをする為の四角に区切ったラインやデザインがあります。（４スクエア、鬼ごっこ、大将ごっこなどで使用します）

日本の子供達にほとんど馴染みがないが、アメリカでは大人気の遊びが「Tetherball（テザーボール）」です。ロープでボールに結びつけられたボールを二人で逆方向に打ち外した方が負けと言う単純な遊びですが、みんな大好きです。



解説

校庭で遊ぶ子供たちの様子を撮影したビデオです。 日本の子供達がアメリカの小学生に対して親近感を覚える場面かもしれません。休み時間はどこも同じようにみんな元気に遊んでいますね。



### ポイント

「校内の清掃」に対するアメリカと日本の考え方の違いを学びましょう。アメリカでは清掃はプロの仕事であり、日本では自分達が使う教室をきれいに保つのは自分たちの責任なのです。

### 活動

給食が終わったら日本の子供達は何をするか尋ねてください。アメリカの子供達は自分達で教室を掃除しません。学校が清掃のプロを雇うか、用務員が清掃を担当します。この説明の時には「アメリカの子供は掃除をしない＝怠け者だ」とか、「アメリカの子供達は掃除しなくていいのに、どうして自分達だけ掃除しないといけないの？」と言ったネガティブな発想に結びつかないように特に留意してください。

### 解説

日本以外にも生徒が校舎内の掃除をする国はあるようですが、アメリカや欧州では基本的に「用務員」が掃除をします。大型の掃除機できれいにするやり方はいかに「合理的なアメリカ」です。日本では教育（しつけ）の一環として掃除の時間があるのですから、「アメリカは掃除をしなくていいなあ！」と言う感想で終わらないように留意してください。また逆に「アメリカの子供は掃除をしない＝怠慢だ」というイメージも残さないように「考え方の違い」に着目するようにしましょう。



### ポイント

アメリカの学校では必ずしも決まった挨拶がない、また重要視されていない事を説明してください。（する子もいればしない子もいる。日本のように揃ってするものではない）

### 活動

（音声を再生して）学校の日が終わった事を教えてください。

終業時、日本の子供達はどうか聞いてみてください。アメリカの子供達は日本のように「先生、さようなら」などと丁寧で決まった挨拶をしません。その代わり「Bye」とか「See you later」などとカジュアルな挨拶を交わします。子供達と一緒に練習してみてください。

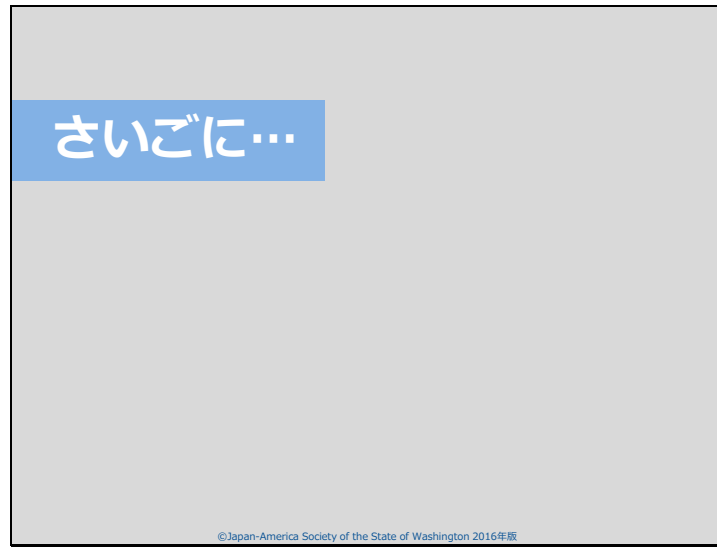
### 解説

アメリカには下校時の「起立→気を付け→先生さようなら！」という挨拶は存在しません。“See you tomorrow.” や “See you.” “See you later.” “Bye.” など様々でしょう。登校時と同じように、児童は教室から先生に見送られて、みんな一緒に学校の外にでます。学校の校舎の中には基本的に児童のみでいるという事はできません。

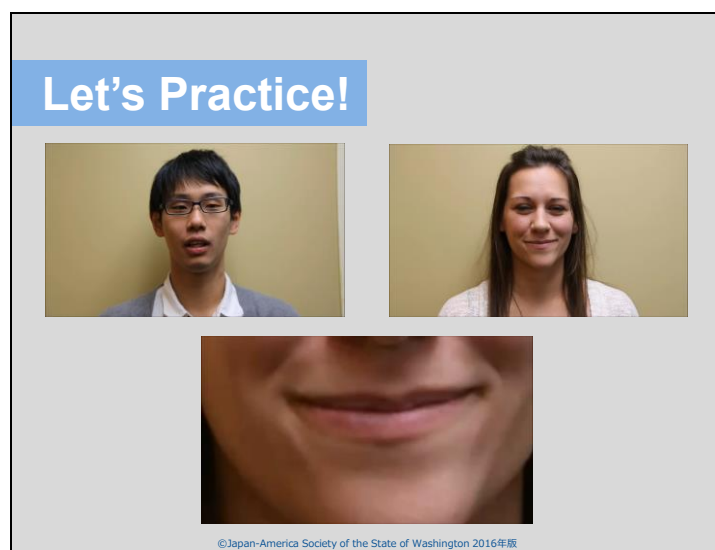
Mikaの学校ではバックパックは廊下に掛けてあるので、教室を出る時はみんなカバンを持っていません。廊下でバッグを取って下校となります。

### 《音声》

終業のベルが鳴ります。



このプレゼンテーションが終わる前に、、、



### ポイント

「Thank you」の言い方を学びましょう。

### 活動

子ども達と一緒に、日本人とアメリカ人が「Thank you」をどのように発音するか比べてみてください。 (左の男性 = 日本人、右の女性 = アメリカ人) 二人はどのような口の動きをしているでしょうか。

2人の唇の動き、歯、舌の動きをよく見てください。(下の写真はアメリカ人女性の口元をズームアップしたものです。) 可能であれば日本人の先生 & ALTの先生で実際にやってみてください。

### 解説

“Thank you” = 「ありがとう」という言葉は日常最も頻繁に使う言葉の1つですが同時に日本人には発音が難しい言葉の1つです。ビデオの口元、またはALTの口元をしっかりと見て真似してみましょう。

先生も一緒に練習してみましょう。 歯、舌、あごの動かし方が日本語とは大きく違います。 英語はカタカナで覚えてはいけません。 全体的な口の動かし方から学びましょう。

このスライドショーについて



アメリカにもたくさんのしゅるいの学校があり、それぞれに特ちょうがあります。今日みなさんにしょうかいしたのは、ワシントン州にあるMikaちゃんが通う「ベネット小学校」でした。

Schools vary widely across the U.S.  
Mika's school is one example of American diversity.

©Japan-America Society of the State of Washington 2016年版

このスライドショーで紹介している学校はワシントン州ベルビュー市にある公立小学校です。アメリカには文科省による「教育指導要領」のようなガイドラインがありません。州、郡、市、学区などで全く異なります。

校舎も学校によって外観が全く異なります。スライドショーで紹介している学校は白い外壁の平屋ですが、もちろん2階建てもありますし、レンガ造りの古い校舎もあればモダンでカラフルな校舎もあります。学区や指導するプログラムによって様々です。

学習内容も同様です。全国統一のガイドラインはありませんので、指導教諭が指導内容や進度を決定します。このように「アメリカでは〇〇です。」「アメリカ人は〇〇します。」と一概に言えないのがアメリカです。

人種同様、学校の在り方も多種・多様でひとくくりには出来ません。

このスライドショーをご利用頂く先生方にはその点を十分にご理解頂き、新たなステレオタイプを生み出す事がないように御配慮頂きながら楽しんで頂きますようお願い致します。



### 解説

生徒から質問が出た時、先生方で回答が難しい場合は、生徒に直接メールでアメリカに問い合わせをするように促してください。英語・日本語どちらでも結構です。

わからない事を生徒自らインターネットを使い調べる、Emailで世界とつながるという、時代にあった、そして健全な経験をして欲しいとワシントン州日米協会は願っています。

### ポイント

子ども達がスライドショーからどんな新しい事を学んだか、クラスで話し合ってください。

### 活動

どんな事に驚いたか、どんな新しい事を学んだか話し合ってください。そしてワークシートへの記入を始めてください。

# Thank you & See you!



提供:  JAPAN-AMERICA  
SOCIETY of the State of Washington  
ワシントン州日米協会

後援: 文部科学省 外務省 アメリカ大使館 米日カウンシル

©Japan-America Society of the State of Washington 2016年版